



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東
 コード番号 4345 URL http://www.cts-h.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	6,525	3.8	1,207	5.7	1,183	6.6	806	3.4
2018年3月期第3四半期	6,287	—	1,142	—	1,110	—	780	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 788百万円 (1.5%) 2018年3月期第3四半期 777百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	18.59	—
2018年3月期第3四半期	19.37	—

(注) 2018年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	12,417	7,283	58.7
2018年3月期	12,279	6,960	56.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 7,283百万円 2018年3月期 6,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
2019年3月期	—	5.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	10.7	1,720	14.0	1,680	14.7	1,180	14.9	27.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、2019年1月11日に開示しております「自己株式の取得状況に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	43,400,000株	2018年3月期	43,400,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	54,845株	2018年3月期	5,237株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	43,389,094株	2018年3月期3Q	40,278,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境につきまして、公共投資・民間投資ともに底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2019年3月期から2021年3月期までの3ヵ年を対象にした中期経営計画を策定いたしました。その中核となる中期経営方針として下記の4項目を掲げ、この方針を基に事業を着実に展開してまいりました。

- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大
- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・建設ICTの独自商品・サービス強化及びシェア拡大
- ・営業体制・機能の強化による生産性向上及び市場開拓

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は6,525,029千円(前年同期比3.8%増)、営業利益は1,207,177千円(前年同期比5.7%増)となりました。

主力事業の建設ICT(システム事業・測量計測事業)においては、新規顧客開拓等を積極的に進めたことにより、当事業の売上高は5,232,164千円(前年同期比5.2%増)となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、売上総利益率が向上したことから、売上総利益が2,369,885千円(前年同期比8.7%増)と堅調に推移しました。建設ICT(システム事業・測量計測事業)への人員増加策及び処遇改善による人件費の増加並びにi-Constructionに対応するための体制構築などにより、当事業の販売費及び一般管理費が1,322,154千円(前年同期比9.9%増)となりましたが、売上総利益の増加により営業利益は1,047,731千円(前年同期比7.3%増)となりました。その結果、グループ全体としては、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

▼当社グループ

(単位：千円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同期比
売上高	6,287,705	6,525,029	3.8
営業利益	1,142,102	1,207,177	5.7
営業利益率	18.2	18.5	0.3pt
経常利益	1,110,862	1,183,858	6.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	780,264	806,528	3.4

▼建設ICT

(単位：千円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同期比
売上高	4,974,738	5,232,164	5.2
営業利益	976,388	1,047,731	7.3
営業利益率	19.6	20.0	0.4pt

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<システム事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用のモバイル回線を中心とした入出力機器等(MFP・ネットワークカメラ等)のレンタル・販売に関して、新商品・サービスの拡充等による商品力の強化、新規顧客の開拓等を積極的に展開した結果、受注を堅調に確保することができ、当事業の売上高は2,661,175千円(前年同期比9.2%増)となりました。利益面は、中期経営計画に基づく積極的な人員増加策に伴う人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。売上高の伸長と売上総利益率の向上により売上総利益が増加し、セグメント利益(営業利益)は671,228千円(前年同期比17.9%増)となりました。

<測量計測事業>

当事業につきましては、測量機器及び計測システム等のレンタル・販売に関して、国土交通省が推進するi-Construction対応工事の需要等はあった一方で、ワンマン測量システムに関する新商品・サービスの開発が大幅に遅れていることにより、当事業の売上高は2,570,988千円(前年同期比1.3%増)となりました。利益面は、売上総利益率の向上により売上総利益が増加した一方、i-Constructionに対応するため、技術営業の人材確保及び人材育成並びにエリア毎への設備投資等の体制構築などにより、販売費及び一般管理費が大幅に増加し、セグメント利益(営業利益)は376,502千円(前年同期比7.5%減)となりました。

<ハウス備品事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用ユニットハウス及び什器備品等のレンタル・販売に関して、既存顧客への営業等を積極的に展開しましたが、シェア確保に伴う厳しい受注競争によるレンタル単価下落等により、当事業の売上高は853,578千円(前年同期比3.3%減)となりました。利益面は、レンタル原価、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、セグメント利益(営業利益)は140,646千円(前年同期比3.2%増)となりました。

<その他>

その他につきましては、売上高は439,287千円(前年同期比2.2%増)となりました。セグメント利益(営業利益)は18,799千円(前年同期比36.0%減)となりました。

▼セグメント

(単位：千円、%)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	前年同期比
システム事業			
売上高	2,437,381	2,661,175	9.2
セグメント利益	569,155	671,228	17.9
セグメント利益率	23.4	25.2	1.9pt
測量計測事業			
売上高	2,537,356	2,570,988	1.3
セグメント利益	407,232	376,502	△7.5
セグメント利益率	16.0	14.6	△1.4pt
ハウス備品事業			
売上高	883,036	853,578	△3.3
セグメント利益	136,347	140,646	3.2
セグメント利益率	15.4	16.5	1.0pt
その他			
売上高	429,930	439,287	2.2
セグメント利益	29,366	18,799	△36.0
セグメント利益率	6.8	4.3	△2.6pt

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は12,417,189千円となり、前連結会計年度末と比較して138,153千円増加いたしました。これは主にたな卸資産が298,762千円、その他流動資産が158,717千円、その他固定資産が169,015千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が337,197千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,133,398千円となり、前連結会計年度末と比較して185,204千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が119,498千円、未払法人税等が103,710千円、リース債務(固定)が115,908千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,283,790千円となり、前連結会計年度末と比較して323,358千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益806,528千円を計上した一方で、剰余金の配当433,947千円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は58.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しており、2018年4月27日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,390,917	6,372,911
受取手形及び売掛金	1,956,210	1,619,012
たな卸資産	373,970	672,733
その他	77,073	235,791
貸倒引当金	△4,772	△5,587
流動資産合計	8,793,399	8,894,861
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	1,863,204	1,765,832
その他(純額)	1,378,067	1,547,082
有形固定資産合計	3,241,272	3,312,915
無形固定資産	60,620	48,355
投資その他の資産		
その他	185,042	162,355
貸倒引当金	△1,300	△1,300
投資その他の資産合計	183,742	161,055
固定資産合計	3,485,635	3,522,327
資産合計	12,279,035	12,417,189
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,675,497	1,555,998
未払法人税等	272,210	168,499
その他	1,027,163	1,190,487
流動負債合計	2,974,870	2,914,985
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,000,000
リース債務	1,173,427	1,057,518
その他	170,304	160,894
固定負債合計	2,343,731	2,218,412
負債合計	5,318,602	5,133,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	425,996	425,996
資本剰余金	2,399,093	2,399,093
利益剰余金	4,089,263	4,461,844
自己株式	△749	△32,412
株主資本合計	6,913,603	7,254,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,829	29,269
その他の包括利益累計額合計	46,829	29,269
純資産合計	6,960,432	7,283,790
負債純資産合計	12,279,035	12,417,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	6,287,705	6,525,029
売上原価	3,625,564	3,698,537
売上総利益	2,662,140	2,826,492
販売費及び一般管理費	1,520,037	1,619,314
営業利益	1,142,102	1,207,177
営業外収益		
受取配当金	2,335	2,200
受取地代家賃	1,620	1,653
固定資産売却益	3,954	3,064
その他	4,964	1,975
営業外収益合計	12,873	8,893
営業外費用		
支払利息	38,671	31,628
その他	5,442	584
営業外費用合計	44,113	32,212
経常利益	1,110,862	1,183,858
特別利益		
投資有価証券売却益	26,025	—
特別利益合計	26,025	—
税金等調整前四半期純利益	1,136,887	1,183,858
法人税、住民税及び事業税	348,566	372,959
法人税等調整額	8,055	4,370
法人税等合計	356,622	377,329
四半期純利益	780,264	806,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	780,264	806,528

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	780,264	806,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,145	△17,560
その他の包括利益合計	△3,145	△17,560
四半期包括利益	777,118	788,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	777,118	788,968
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,437,381	2,537,356	883,036	5,857,774	429,930	6,287,705	—	6,287,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,437,381	2,537,356	883,036	5,857,774	429,930	6,287,705	—	6,287,705
セグメント利益	569,155	407,232	136,347	1,112,735	29,366	1,142,102	—	1,142,102

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,661,175	2,570,988	853,578	6,085,742	439,287	6,525,029	—	6,525,029
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,661,175	2,570,988	853,578	6,085,742	439,287	6,525,029	—	6,525,029
セグメント利益	671,228	376,502	140,646	1,188,377	18,799	1,207,177	—	1,207,177

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。